

第1回生月町地域協議会会議録

1. 会 場 平戸市役所生月支所3階第2委員会室
2. 日 時 平成27年4月20日(月) 午後2時30分開会
3. 出席委員 志水委員、岩井委員、川淵委員、濱崎委員、富岡委員、富澤委員、鴨川委員、米倉委員、中山委員、伊藤委員、谷本委員、山浦委員
4. 欠席委員 松永委員、松山委員
5. 議事録署名員 志水委員、岩井委員
6. 職 員 濱田支所長、西地域振興課長、石橋参事監、船原館浦出張所長、池田生月病院事務長、平松教委生月分室長、松本生月・山田保育所長、寺田市民協働班長、破戸主査、山口主任主事
7. 傍 聴 人 2人
8. 審査案件等の概略及び審査結果並びに発言内容

14時30分開会

(1) 会長・副会長の選任

濱田支所長を座長に協議し、推薦により決定。

会長 山浦 武氏 副会長 伊藤茂喜氏 全委員一致で承認

(2) 会長挨拶・副会長挨拶

(3) 議事

1. 専門部会について
2. 平成26年度まちづくり活性化事業交付金(生月地区)事業評価について
3. 平成27年度まちづくり活性化事業交付金(生月地区)審査について(いきつき春まつりのみ)
4. 平戸市行政改革推進委員会委員の推薦について(追加審議)
5. その他

○会長

それでは、これから会議を進行します。本日は過半数の委員の出席をいただいておりますので、これより会議を進めてまいります。欠席の届けが○委員、○委員から報告がっておりますのでご報告します。また、審議事項追加がございます。④の「その他」を⑤に繰り下げ、④に「平戸市行政改革推進委員会の推薦について」を追加とさせていただきます。次議事録署名人の選任を行います。選任につきましては、いままでどおり会議の中において、会長が指名するというところでよろしいでしょうか。

（「異議なし」という者あり。）

○会長

本日は、○委員、○委員にお願いいたします。

それでは、レジュメの4、職員紹介及び職務説明をお願いします。

○濱田支所長

（支所長より紹介。）

○寺田班長

職務説明ですが、今回選任されました委員の皆様におかれましては、以前にも委員を務めていただいております経験も豊富でございます。また、今回初めて委員として選任されました○委員、○委員には、直接、事前に説明いたしておりますので、時間の関係上、職務説明は省略させていただきますのでご了承をお願いします。

○会長

それでは、レジュメの5、審議事項に入ります。審議事項①専門部会についてですが、時間の関係上、本日は審議事項②③の、事業評価審査を委員全員で行い、後で専門部会を決めたいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。（異議なしの声）

それでは早速、事業評価に移ります。まず平成26年度平戸市まちづくり活性化事業交付金（生月地区）事業評価についてですが、事務局よりお願いします。

○事務局

平戸市まちづくり活性化事業交付金評価要領について説明をさせていただきます。

今回、婦人会の2名の委員におかれましては今回初めての評価及び審査となりますので、簡単に説明をさせていただきます。

まず、資料②をご覧ください。評価要領の第3条において地域振興課及び地域協議会が事業評価を行うこととなっています。地域振興課においては、既に事業評価を行っており委員皆様方に事前配布資料としてお配りいたしております。採点は、2枚目にあります各採点項目について加点方式で行います。

事業評価基準の加点の目安としては、事業計画以外にプラスα的な事業実施を行っている場合等大変評価できるものに8点～10点、当初の事業計画どおりに推進し、予算の変更等も生じていない等評価できるものに5点～7点、事業実施されていないことがあったり、目的と異なった事業実施をしている場合等あまり評価できないものを4点以下とすることとなっています。また、点数だけでなく、評価に対するコメントや団体に対するアドバイス等も記入していただければと思います。実績評価表の総合評価については、第4条第2項において、委員皆様から回収した結果の平均得点に応じ決定することとしています。その平均得点が、80点～100点をA評価、50点から79点をB評価、49点以下をC評価とします。最後に実績評価の結果については、第6条のとおり交付団体に通知するとともに公表も行うこととしていますのでよろしくお願いいたします。以上です。

○会長

それでは、いきつき春まつりから説明をお願いいたします。

○いきつき春まつり実行委員会事務局

平成26年度のいきつき春まつりは、1日1会場として凝縮して、実施をしております。

これはですね、マンネリ気味だという指摘がありまして、1日1会場として、かつ、歌謡ショーとして、演歌歌手をお呼びしまして、歌謡ショーを軸として、実施しました。主な事業内容としては、資料④の2ページに記載をしております。そして、当日の来場者数と当日の売上として、当初実行委員会で目標を立てた数は上回って167%、当日の売上も112%と達成をしております。最後にですね、平成10年頃にこのいきつき春まつりは、いきつき勇魚春の陣としてスタートしまして、それから紆余曲折を経ながら、途中から事務局を商工会が担当していましたが、27年度はですね、館浦漁協さんが事務局を担当することとなっています。後ほど、またご審議をお願いします。以上です

○会長

ありがとうございました。本事業について何か委員さんからご質疑はないでしょうか。ございませんね。ご質疑もないようなので、早速、評価をよろしくお願いいたします。

春まつり実行委員会事務局の方は退席して下さい。

評価は終わりましたでしょうか。

○事務局

再度説明させていただきます。今までが、審査部会のほうで審査をしていましたことから、初めて審査される方がおられるので、本日先に、評価表を4枚お配りしていたと思いますが、加点の欄がありますが、こちらに点数を書いていただくこととなります。加点の方法は先ほど説明しました。事業ごとに右上に書いていますので、間違いのないようにお願いします。

○濱田支所長

10点満点中、何点かということです。

○委員

資料③のですよ、団体の評価と、課の評価がありますよね、それを参考にしたらいいでしよう。

○事務局

そうです。

○会長

次に、館浦競漕船大会の事業実績の報告に入りたいと思います。

○館浦競漕船大会事務局

お手元の事業実績報告書に沿って説明します。平成26年度の館浦競漕船大会は、平成26年7月20日の日曜日に実施いたしました。事業目的等については、例年通り、漁業の町の再活性化と地域間交流を目的として、実施しました。レースの参加者については、合計31チーム238名の参加されております。平成25年度と比較して、中学生のチームが増えたことで、チーム数、参加者数が増えています。その一方でカウントした来場者の方は前年度と比べて減となっております。和船のレースに別に実施したイベントは、海の上のターザンが小中学生を中心に参加者が多かったんですが、その合間に用意しておりました、和船の乗船体験や、終了後の櫓漕体験。こういったものについては、海のターザンと終了後の魚のつかみどり、こちらが非常に盛況だったということもあって、この2つは申込がなかったということで実施しておりません。参加チームへの市内市外への募集をしておりましたが、なんとか、25年に出ていただいた、一般、大人の方のチームにはそのまま出ていただき、中学生が増えたということで、人数は増えておりますが、地域間交流という点では、目に見える効果が現れませんでしたので、これは改善すべき点だと思われれます。収支精算等については、こちらに載せてあるとおりです。簡単ですが以上です。

○会長

ただいまの報告についてなにか質問はありますか。

○委員

質問ではありませんが、この大会の意義は、2ヶ月前から船を出して、練習するんですけど、特に女性チームが参加するのが素晴らしい。また中学生の参加がですが、先人達の体験をする。練習に意義があるすばらしい事業だと思いますので、補足して報告します。

○会長

他にございませんか。

○委員

和船のメンテが入ってくるんですけども、今、保有されている和船の数と、これは今後どれくらいもつのか、買い替えしないといけないのか、そこあたりどうなんですか。

○館浦競漕船大会事務局

現在3隻あります。この大会も17、8回を迎えましてかなり傷んでおります。専門的な船大工さんというよりも、地元の大工さんから簡単な修繕を行っているところですが、今後継続していくにあたっては大幅なメンテナンスもしくは、思い切った新船も今後検討することも課題だと思っておりますが、予算の関係等がございますが、今のところ目立った大きな故障はありませんので、出来る範囲で、修繕していくという形ですが予算的なものもありますし、今後継続して行くによって、検討課題だと思っております。

○委員

非常に良い大会だと思いますが、補助の方は毎回やっていくんですけど、今後、積み立てとか基金とかあればいくらか船一艘造るにしても500万ばかりかかるのですか。

○会長

○委員さん分かりますか。

○委員

旧生月町の補助をいただいて造ったんですけど、たぶん200万くらいしたと思います。船自体は長く持つと思うんですけど、櫓を漕ぐところが痛んだりする。あと櫓が傷むんですよ。金額は定かではないです。船自体は大丈夫と思います。

○会長

今、○委員さんから質問があったんですが、この船も木造船なので、18、9年で更新しなければならぬ時期に来ているんですけど、それに対応する、基金とか募金とかは、考えていないのかというお尋ねがあったんですが、事務局としてはどのように考えてますか。

○事務局

いまのところでは、そういう考えまで至っていない状況で、27年度の大会の会議を開くに当たって今後の活動のためにも、そういった検討ももちろん、していかななくてはならないと思っております。

○会長

はい、ありがとうございました。ほかにご質問等ございませんか。
ないようでしたら評価に入っていいでしょうか。事務局の方はありがとうございました。
退席して結構です。委員のみなさんは評価に入ってください。

○会長

次に「いきつき勇魚まつり」の評価に入りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

○いきつき勇魚まつり事務局

いきつき勇魚まつりについてご報告します。平成 26 年度のいきつき勇魚まつりは 11 月 23 日に開催いたしました。事業の目的としましては、大中型まき網を中心とした水産業と農業を主体としてを核とした地域である。しかしながら往年の活気を失っているということで、再び地域の盛り上がり、観光の開発、交流事業の増大を目的とし、実施しております。平成 26 年度は平成 25 年度の実績や、当初の目標を大きく上回る 8,425 人の方にご来場いただきました。これは、当日が天候に恵まれたことが大きな要因になっております。その他、チラシ、ポスター、情報誌のほか、テレビ・ラジオといった、県外の周知も大きな効果があつてと思います。昨年、ステージイベントを大幅にリニューアルし、それが非常に評判が良かったようで、リピーターの方にご来場いただいたと思います。物販についても、売り切れた商店もあつたようで、各店舗の実績の合計が、目標を上回る、約 4,462,000 円となっております。一方で来場者の方のアンケートで、また来年も来たいという意見が、昨年の 93.5%から 91.7%に減少する結果となっております。数字の理由といたしましては、来たくないという回答が実際は 0.9%しかなかったんですが、無回答が全体の 7.4%ということで、この「はい」という意見の減少になっておりますが、こちらといたしましては、また来たいと、書いていただけなかった理由があるものと、反省して次回以降の来場者のかたの、満足度向上を目指したいと思います。26 年度に関しては、事業の目的である生月地域の産業の振興、観光の開発及び、交流人口の増大という目的は、十分達成されたものと理解しております。収支決算等はここの掲載しているとおりです。また、本年度もより良いイベントとなるよう、事務局を中心に早期に準備をし、より充実した事業になるよう、努力したいと思います。以上です。

○会長

ありがとうございました。只今の事業実績報告につきまして、委員さん方からご質疑ございませんか。

○委員

広告宣伝費とか、キャラクターショーとかたくさん予算をかけられてますけど、これはこれで一応評価は出来るんですけど、もう少しお金があったら、そうゆう出し物の中でもう少しお金があったらよく出来たのという反省は出ませんでしたか。金銭的にちょっとあればできたとかの。

○いきつき勇魚まつり事務局

そうですね。イベントに関しましては、集客を見込めるものとして、家族連れを呼び込む手段としてのキャラクターショーということで、この分に大きくお金を使っております。あと、他のステージイベントでは地区のダンスチームもご参加いただいたんですが、出来るだけ費用を賭けないで、イベントの中身を組んでいます。予算の方に余裕があれば、もっとということもあるんでしょうが、収入あつてのことなので、収入の範囲内ということで、出来るだけお金をかけないということで行っていますけど、いまのところ事業のステージイベント等に関しましては、高い評価をいただいております。

○会長

他にご質疑ありませんか。はい、富澤委員。

○委員

資料の13ページの中で、効果と活動成果のなかで先程説明がありました、会場来場者の435名のアンケート調査がありましたけど、来場者が町外、町内それを見て分けてアンケートを取ったんですか。

○いきつき勇魚まつり事務局

アンケートに回答していただく方は、最初ランダムになるんですが、実際アンケートのけっかを見て、町外の方、町内の方に分けることからしていますので、全体の意見、あとは、市外の方、市内の方、そういった方の意見を踏まえてという形になっております。

○委員

出来れば、町外、町内と分かれば。数字は分かれますか。

○いきつき勇魚まつり事務局

来場いただいた方の割合に関しましては、町内の方が、51.5%。生月外の方が、48.5%という形になりますので、ほぼ、半々に近い形になると思われれます。

○委員

ありがとうございました。

○会長

他にございませんか。

ないようでしたら、評価に入りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」との者あり。)

○会長

それでは、事務局の皆さんご苦労様でした。退席して結構です。

委員の皆さんは評価に入ってください。

○会長

事業評価が終わりましたので、次、いきつきロード 2015 大会実績報告に入りたいと思います。説明をお願いします。

○いきつきロード 2015 大会事務局

いきつきロード 2015 大会の実績についてご説明いたします。資料 17 ページをご覧ください。活動の成果・指標について説明いたします。本大会は、地域住民のスポーツ振興・健康増進各種ボランティア団体の相互連携による地域コミュニティの活性化及び、町外からの交流人口の増加をめざして、行っている事業であります。本年度につきましては、例年通り 1,000 名の参加者を目標に行ったんですけども、減少いたしまして、16.3%の減、782 組でした。人数で言いますと、資料の方の 17 ページに、申込で 859 名当日参加は 787 名となっております。人数が減った原因ですけど、いくつか推測される部分がありまして、まず一つ目に、ここ近年、大都市でのロードレース、シティマラソン等が増えたことによって、同日の開催が佐賀の 10 マイルロードレース、北九州市のフルマラソンがあっております。そちらの方に、佐賀県の方、長崎市の方が流れたんじゃないだろうかと考えています。それと、年末にありました、船舶事故の影響で、地元の参加が減っております。実際、所在地別の集計を見た場合、そういったことが推測されます。続いて、予算でありますけど、本年度消費税もあがりまして、参加費を上げております。大人が 2,000 円から 2,500 円、高校生、小中学生については 100 円上げさせております。ファミリーの部は地元からの参加も期待したいことから、2,000 円据え置きとしておりましたけど、実質、参加者が減っている現状です。ただ、2,500 円という部分については、各シティマラソンでの、近年の参加費の高騰もありまして、今のところ適正な金額ではないかと思いますが、先程も言いましたが、都市部での大会にどうしても、負けてしまう。魅力ですね。大都市ですと、インフラ整備、交通の便、

宿泊施設、その他の観光施設が充実していることもありまして、そちらの方に流れていっているという現状もあると思います。後のほうで、課題事項にも上げさせていただいておりますが、東京マラソンの功罪と言いますか、その上で増えております、シティマラソン、その他のマラソン大会、駅伝大会等に負けないような大会にしていけないと、このままじゃ参加者が減っていくのではないかと思われます。それと、教育委員会の職員体制についてですけども、近年削減ということで、計画がされております。そこで事務局を今まで通り教育委員会で持てるのかということで、昨年から議論になっておりますが、昨年、受け入れ先を一年かけて探しました。団体を探した中で、平戸市の陸上競技協会にお願いできないかと思ったんですが、結論から言いますと、出来ないという回答でありました。今後についても、今月、もしくは来月、大会の実行委員会を開きまして、再度、どうするかということで検討させていただきたいと考えております。説明は以上です。

○会長

只今の実績報告説明につきまして、委員さんのほうからなにかご質問ありませんか。

○委員

ちょっとお尋ねしたいんですけど、スタッフが111名とかね、事務局体制が何名とか、ちょっとここで、今後の運営に関しては、人的な部分を心配しているんですけど、当日スタッフが111名、これは大丈夫なんですか、もっと必要ではないかということと、もう一つは事務局が、教育委員会のほうと一緒にやってきたと部分もあって、実行委員会とかボランティアという形の、事務局の体制を作るのは可能ですか。

○いきつきロード 2015 大会事務局

111名のスタッフは、当日のスタッフで現状この人数で足りております。ただ、事務局といたしましては、実行委員会の中に、体育推進員さん、陸上競技協会の方、体育振興会の会長、副会長それと支所の支所長等も入っているんですが、実質事務を行うのは、教育委員会分室の職員でありまして、正直申し上げて、今までは、B&Gの職員の2名で行ってまいりました。皆さんご承知の通り4月に回覧が回っているとおり、B&Gの職員体制が現在1名となっております。5月から非常勤職員を雇う予定としておりますけども、実質、1人と半分ですかね。もうほぼ不可能です。約半年前から準備の事務が1人2人に負担が大きくなってきます。書類の申請、各関係個所への説明、それと調整。そう言ったことが、どうしても人的な時間、1人二人に対しての時間が必要となってきます。岩井委員おっしゃるとおり、実行委員会方式、ボランティアでまかなえないかというところで、実際、出来そうなところ、先程申し上げました、平戸市の陸上競技協会等、もしくは、近々立ち上がる、まちづくりの団体。そう言ったところをお願いできないかとさんざん検討を行ってまいりました。ただ、やっぱり、どうしても、事務ですね。文章を打ったり、調整をしたりとか、お金の管理をしたり

とかで躊躇される方がいらっしゃる。やりたい方がいらっしゃれば、お願いしたい思いはあります。そのへんのノウハウもゆっくり時間をかけて、お伝えして行きたいと思ってます。実際、体育振興会が今年から、教育委員会から離れて、2年ないし3年には、独立していただくという形で、事務の引継ぎを実際行っているところでございます。まずは、受け入れの団体をどういった形で、どういった体制で行っていくのか、今年早急に考えていかなければならないと考えているところです。

○会長

他にご質問はございませんか。無いようですので評価に入りますがよろしいでしょうか。事務局の方はありがとうございました。

○会長

今、評価作業が終了しました。集計しておりますので、しばらく休憩します。

[休憩]

○会長

会議を再開します。

只今、評価していただきました、内容について結果を発表したいと思います。

平成26年度平戸市まちづくり活性化事業交付金（生月地区）

いきつき春まつり、平均点90点評価A。館浦競漕船大会、平均点84点評価A、いきつき勇魚、平均点91点評価A、いきつきロード2015、平均点84点評価A以上の結果となっております。全てA評価です。以上で発表を終わります。

○会長

続きまして、平成27年度平戸市まちづくり活性化事業交付金（生月地区）の審査に入ります。本日はいきつき春まつりのみの審査をおこないます。事務局よりお願いします。

○事務局

事務局より審査の方法について説明をさせていただきます。資料の⑦平戸市まちづくり活性化事業交付金審査要領生月地区と書いてある資料をご覧ください。こちらですね、今まで、審査部会のほうで、審査を行っていたんですけど、今回は委嘱されての初めて本会ですので、委員さん全員で審査をしてもらうんですが、平成25年度に改正を行っております。現在は、協議審査となっております。

さて、要領の第4条第2項において審査方法は協議を行うものとなっております。協議基準については、そこに書いてありますとおり、計画性、事業費の妥当性、地域性、発展性、熱意の5分野について皆さんで協議していただきます。計画性については、事業の目的、計

画、期待される効果が明確か。また、事業の実施が確実に遂行できそうか。事業費の妥当性については、事業実施に伴う事業費用となっているのか。また交付金が有効活用され、地域に有益な事業となっているか。地域性については、地域の特性や資源を活かした個性あるまちづくり事業であるか。また、市民や地域住民の交流や親睦など図られる事業であるか。発展性については、地域の発展に寄与する事業であり、なおかつ広く市民に支持され発展していく可能性があるか。また、幅広い市民の参加が可能であり、今後の事業展開に繋がるものとなっているか。熱意については、事業に取り組む姿勢が、他の市民からも共感を呼ぶ熱意が感じられるか。また、地域を盛り上げ、魅力あるまちづくりへの仕組みづくりとなっているか。以上5点について協議を行っていただき、審査をお願いいたします。長くなりましたが、以上で審査方法についての説明を終わります。

○会長

只今の、事務局の説明でなにかご質問ございませんか。
ないようでしたら、事務局より説明をお願いします。

○いきつき春まつり実行委員会事務局

全体的な事業概要と予算の2点から説明します。まず、全体的な事業概要ですが、日時を5月3日で時間を10時スタート、イベントの一時受付だけを、9時スタートとしております。場所、メイン会場をふれあい広場、イベントの一部を館浦漁協の大敷食堂の広場を使用します。イベントの内容としまして、市政10周年として、市民参加型のパフォーマンスショーを開催します。市内の各団体に参加を呼びかけ、町内の生月保育所、山田保育所、山田幼稚園など、市内のほうから大塚ヘルシー、猶興館ダンス同好会など、10チーム程が参加予定です。次にマグロ解体実演販売を行います。田平の長崎ファームさんによる平戸本マグロの極み一番の解体実演販売を行います。解体販売は館浦漁協のおさなか販売所で販売予定です。

次に、生月大橋の真下をクルージング。館浦港を出港して普段では観れない生月大橋を真下から見学します。その後、館浦漁協の定置網を見学いたします。ボランティアガイドの方1名乗船予定です。10時過ぎより、30分間隔で運行し、定員10名、午前に2回、午後に2回予定しております。魚のつかみ取り大会は、大敷食堂の横の広場にいけすを設置しまして、魚を投入してつかみ取りを開催いたします。小学生までを対象で80名を予定しております。来場者数の目標は3,000人、売上を100万円に設定しております。

次に予算ですが、昨年と同じ予算で予定しております。前年と比べて、広告費が減少しているのは、その分をイベント費に回しております。チラシを約13,000枚タウン誌のコミコミを一枠、チラシは生月町は全戸配布。旧平戸市、田平町は班回覧伊万里松浦佐世保市は新聞折込みで対応する予定です。それと今年度より実行委員会の事務局が館浦漁協になりました。私からの説明は以上です。よろしく申し上げます。

○会長

説明ありがとうございました。只今の説明に対しまして、委員さんの方からご質問等ございませんか。何もないようですので、協議審査にはいります。事務局の方のご退席をお願いします。どうもご苦労様でした。

本件は先程事務局より説明があったとおり、協議審査ということでございますので、審査の可否について、お伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。問題が無ければそのまま採決ということでよろしいでしょうか。

(「はい」という者あり。)

○会長

本事業は、採決ということで決定したいと思います。ありがとうございました。ここで休憩します。

[休憩]

○会長

休憩前に引き続き開会します。審議1に戻りまして、専門部会の構成を審議したいと思います。選出方法はいかがいたしましょうか、資料は11です。産業交流づくり部会、環境協働づくり部会、教育福祉づくり部会、それから審査部会。この4つの部会があるわけです。上からの3つ、産業交流、環境協働、教育福祉に14名の委員さん方が、重複しないようにして下さい。審査部会はその中から代表者を入れていただくということで、部会を編成しております。私の方が進めるわけではないので、どのように選出をするかということ、まず諮りしたいと思います。

○委員

従来ですよ、自分がどの部会に入りたいかの希望を取って、それが重なったときに、調整をしたらどうでしょうか。希望を取らないと分からないと思いますから。

○会長

今、○委員のほうから、各委員さんが希望する部会に名乗りをあげて、それで部会のメンバーを固めていったというような段取りだったと。それでいいのではないかとのご意見がありましたけども、皆さんいかがでしょうか。他に意見が無ければ休憩してそのようしようと思いたしますがいかがでしょうか。

(「はい」という者あり。)

○会長

それでは休憩します。

[休憩]

○会長

休憩前により開会します。

決定しましたので、ご報告します。産業交流づくり部会に、部会長に○委員、副部会長・○委員、それから、委員が○委員、○委員、○委員。環境協働づくり部会の部会長が○委員、副部会長が○委員、私と、○委員。それから教育福祉づくり部会が部会長が○委員、副部会長が○委員、○委員、○委員、○委員ですね。それから、審査部会の部会長が○委員、副部会長が○委員、○委員、○委員、○委員、それから私と○副会長以上ですね。確認できましたので、次に審議事項4に移ります。事務局より説明をお願いします。

○事務局

それでは、追加に入れていただいております、審議事項4、平戸市行政改革推進委員会委員の推薦について、ということでご説明いたします。本年度の平成27年度からですね平戸市行政改革推進委員会条例に基づきまして、平戸市行政改革委員会を設置いたしまして、市長の諮問に応じて、調査、審議を行っていただくように、本庁行革推進課で準備の方を進めているところでございます。この委員会では、市行政改革の進捗状況及び平戸市公共施設等総合管理計画の策定を行っていくんですが、その策定の段階で委員から提言や助言をいただきまして、計画策定に反映することとしております。つきましてはですね、行革推進課の方より、各地区で地域協議会から1名を委員として推薦をしていただき、計画策定に参加をしていただきたいとの依頼がっておりますので、生月町地域協議会から1名の推薦をお願いするものであります。会議につきましては、年間5回程度予定をされております。第1回の会議は7月で2時間程度の会議となっております。会議の時間はですね、通常勤務時間内を想定しているとの事です。任期につきましては、2年間。会議の出席の折には、日当、費用弁償等が支給されることとなっております。以上で説明を終わります。

○会長

只今、事務局から説明がありましたが、市の行政改革委員の委員に協議会から1名の推薦をというお話でしたが、どのように選出いたしましょうか。協議したいと思います。ここで休憩します。

[休憩]

○会長

休憩前に続き再開します。

○委員を平戸市行政改革推進委員会の委員として推薦することを決定します。

○事務局

委員の推薦にご協力をいただきありがとうございました。会長を推薦者として、○委員を推薦することで、推薦書を提出いたします。

○会長

次にその他の件ですがなにかありませんか。

○委員

病院のことで一つお尋ねです。先日、病院のほうへ出向く機会がありまして、病室を見て回ったら入院患者が少ないんです。これは大丈夫かと。実際、生月病院の経営状況はどのようになっているのかお尋ねします。知ってる範囲で結構です。

○池田生月病院事務長

実際の入院の患者さんの数なんですけど、今、47 から 48 人。病床数が 60 なので、8 割です。経営状況ですが、平成 21 年度から病院の改革プランを実施をしております、人件費の削減とか、歳入であれば、管理栄養士の栄養指導とか、リハビリテーションの充実で収入面もアップはしております。平成 25 年で黒字化に今はなっている。ただその原因というのが、国の特別交付税なんですけど、不採算地区への病院の交付税が毎年 8,000 万円きてますので、それがあってこそ、黒字になっている状況です。その交付税が何年まで続くか分かりませんが、今のところは、継続はしておりますので、今の状態であれば、経営状況は良い方であるとは思っています。

○委員

私は、病院のあり方検討委員会に 2 年ぐらい委員になっていて、他の病院の先生も一緒に検討してきた。生月病院はこのままで良いのかというのが命題だったんですよ。当時はですね、あなたおっしゃるとおり黒字で来ていたんですよ。それで、生月病院を診療所にするという意見もあったんですが、黒字でしたので、だんだん意見が小さくなってきました。それで私がお尋ねしようとしているのは、現在の状況が黒字であるかどうか、その点がどうか、心配になってお尋ねしている。それによっては診療所に格下げになるのではないかなど。市民の方々から、生月病院が無くなるのではないかという人がおありまして、大変不安に思っているわけですよ。私たちはここで、生活できるとも、病院があり、学校があり、行政の力で成り立っているのですから、一番大事な命を預かる病院が存続するか、なくなるか、これは大変な関心事なんですよ。だから私はお尋ねしているんですよ。今のところ大丈夫なんですよ。

○池田生月病院事務長

改革プランというのが、平成 23 年まであったんですね。再度、今年の 3 月にさらに病院の改革をしなさいというガイドラインが出来ているんですね。その中で、再編成とか、ネットワーク化という形で、病院の規模を考えてくださいという指針が今出ているんですね。平成 27 年度に、そこらへんの病院改革のプランを策定する予定にしておりますので、さっき言ったように、交付税が続けば良いでしょうけど、付かない場合は、診療所とか指定管理とかいろんな方法があるんですけど、その辺の話が出てくるかもしれません。

○委員

支所長にお願いしますが、先日浦北の区民総会があったんですが、その中である分団長さんが、消防ホースを、あの、消火栓がありますよね。そこに分団のホースを貸しているのを返してくれという意見が、あったものですから、あなたも消防団で分かつとおり、消火栓のホースは格納庫に入れてますよね。そうすると、折りたたみにしているものですから、折り目から水が漏れるんですね。長くは置けない。しかし、そうすると、ホースを補修しなければならない。市の予算は、たぶん、合併したわけですから、消火栓の数が増えているので、予算が付かない。補充が利かない訳ですよ。だからといって、消防団のホースを消火栓に持ってくると、今度は、消防団が困るわけですよ。ということは、火災が一件発生すると、その日にホースを干してしまふ。そうすると使われるホースがない訳ですよ。もしかして、その時点で火災が発生すれば、対応が出来なくなる。当然、責任は消防団も問われる。しかし、それを借りた区長さんも問われる。そう言うことで大変な心配をしているのが、消防団であり、区長さんも心配している。今日言っていることが、議事録に載って市長さんが目を通すかもしれないから言っているんですよ。だから、議員さんも居りますが、実態というものをしっかり把握していただいて、初期消火がいかに大事かということも、あなたが一番知っていると思いますので、火災が発生したら真っ先に消火活動に入るのは、地域の人たちです。それが、消防車が付くまで、10 分なり 5 分なりかかるわけですよ。何かあれば 10 分を超える時もある。そうすると、家屋は燃えてしまふ。そうすると困るわけですよ。だから、その辺のことを、なにか機会があれば、要望として、まずは、行政側の一番大事なことは、地域の人たち、市民の生命財産を守ることだろうと思います。それを基本にして、予算は組んでいってると考えるわけですよ。その事を踏まえて、機会があればお話していただければと思います。

○濱田支所長

今、お聞きまして回答は出来ませんが、今度、区長会が 23 日に予定されております。生月地区の消防団の幹部会が 30 日に予定されております。そこで、今、お聞きしました件に

つきましては、どういう実状なのか確認をさせていただきまして、関係部署に繋げて行きたいと思います。

○委員

合併してね、消火栓がかなりの数になってきたことは分かります。設置するホースがかなりな数になることも分かりますし、一本あたり3万も5万もするホースを設置することが困難なことだと分かりますが、それはそれです。今まで生月町の場合は出来ていたんですから。合併してから出来ないとはおかしなことです。その辺の考え方を少し考えて欲しいと思ってます。

○濱田支所長

消火栓のホースにつきましては、今までは消防団のホースを回していたんですが、旧町時代には予算に余裕があれば、消火栓に何本か入れたこともあります。消火栓ボックスについては、今まで、地区で管理をしていたんですが、それが今年度、市の方で補修するというようなことを聞いておりますので、その中にホースがあるのか分かりませんが、そういうことも含めて確認をしたいと思います。

○委員

現在総務課の方で、防災組織を立ち上げようとしているのは事実です。各地区から7、8名防災士の免許をもらっている方を寄せて、ネットワークを築こうと。まず7、8人で発起人会を作って協働で、市とその防災ネットワークと、自治会とか、自主防災組織にも広げていくというようなものを、3年計画でやっていくようなものです。そんな中、私もその一員ですが、そうしたときに消火栓の話が出まして、消火栓は非常に新しいところと、古いところもある。もちろん消火ホース、収納庫もそのとおりであります。それから、地下式、地上式がありますけども、それらを全面点検し、消防本部、消防団、自治会と、今後は消火栓も進めて行きたいという話しがでておりました。参考までに。以上です。

○会長

他にありませんか。

○委員

地域活性化の為に、今回2名よそから来られるということで、決定しましたということで、お名前をいただきました。具体的に、席はどこにあって、どうゆうテーマに取り組まれているのか、分かる範囲で結構ですので、お話いただければと思います。2人の役割と言うんですかね。

○濱田支所長

生月には、大阪と神奈川から2名の応援隊が配置されます。5月1日からの予定です。目的としては生月の地域振興、席も生月支所の中に置きます。サブ的に中央公民館、教委生月分室にも席を置きまして、公民館の活動をする時には、そちらの方で仕事をしていただく。基本は支所に置きます。あとのどのような内容の業務にあたるかというのは、明日、会議がありますので、そこで協議をして詰めて行くということになります。応援隊が配置されて、何をしたらいいのかという状態にならないようにしっかり詰めて行きたいと思います。配置され次第、業務にあったってもらうようにします。

○委員

一応、採用にあたっては、支所の方で、教育委員会の方で、対応されると思うんですけど、私どものここに住んでいる協議会のメンバーにも、皆サポートすることが大前提ですんで、何か出来るようなことがあれば、何なりと申し付けていただければと思っております。

○濱田支所長

ありがとうございます。そういうことでご協力をお願いします。

○委員

昨年からですからね、基金の活用ということで、博物館にですね、漁業を展示するリニューアルということで、3月予算が通ったということで聞いております。で、その予算規模とですね、基金からいくら使うのか。もし、基金残があった場合それをどうするのかというところで、お尋ねですけど。

○石橋参事監

せっかくその意見が出ましたので、資料の13を見ていただきたいと思いますが、1ページに生月地区の関連の主要事業を載せております。その中に、平戸市の事業として、文化交流課の漁業をみせる展示整備事業ということで、ここで島の館のリニューアルをするというふうなことで、基金については、4,000万を生月地区公共施設等整備基金から、そこから財源に充てるというふうなことに予算化されております。

今年度はですね、全体事業費として5,000万が当初予算で計上しております。今年度の主な内容につきましては、設計制作の委託料が主な事業内容となっております。

せっかくですので、生月地区の全体の主要事業を報告します。本庁の予算なんですけど、市の事業と県の事業等を若干端折って説明します。所管課と事業名と主な内容ということで、主な内容に沿って説明をいたします。まず、有害鳥獣対策イノシシの駆除の事業がございます。平成26年度の実績は405頭が捕獲駆除されております。次に行きまして、農作物の整備事業ということで、陸線の、今、中学校の運動場に登る所から正田の〇〇さんに出る

道あそこが緊急避難路として、平成26年から入っております、今年度完成する予定です。木場地区の排水路といいますのは、生月支所の上方の排水路を整備する事業がございます。上堤のため池につきましては、上場の下に防護フェンスを今張っておりますが、それが若干張ってないところがあるということで、それを実施する予定です。次に水産課の事業ですが、今年度は生月漁協さんのほうで8トンの保冷車と回転式のフォークリフト、館浦漁協さんのほうでは、おさかな販売所の改修が予定されております。次に建設課の事業といたしまして、晴木加場田線ですね。この道路が救急車がいらないということで、要望書も出しておりましたが、今年度の当初予算で予算化がされておりますが、ルートを含めて、地元説明会が、開催されるようになるかと思っております。それと壺部浦の住宅が今建設中でございますけど、9月の完成の予定でございます。小学校の体育館の耐震工事それと山田小学校の校舎の耐震工事が予定されております。先程、漁業をみせる展示事業は、島の館のリニューアルと言うことです。それと、県の事業になります農村災害対策整備事業ということで26年度は落木場の下川橋から余水吐に向かって整備をしておりましたが、今度はその上の余水吐までの整備をするということを引き続き行います。27年度につきましては、落木場の残と合わせまして、山頭の方も、余水吐から排水路の改修をするように予定がされております。それと地すべり対策工事といたしまして、松本地区ですが継続での法面吹きつけと集水路を2箇所予定がされております。それと、回覧でも回ってきていると思っておりますが、里塚目地区の玄祥院の周辺の水抜きボーリングを予定しております。漁港整備事業といたしまして生月漁協港内の砂利敷のところの舗装が計画には挙がっております。それと併せまして、館浦の方の漁港内の車止めの整備もしたいような話もあっておりますが、これはちょっと未確定です。今のところ、予算、計画に挙がっているのが、主な事業であります。進捗につきましては、それぞれまた、地元説明とかがありますので、それで進んで行くようになるかと思っております。以上でございます。

○濱田支所長

○委員のご質問の基金の残についてですが、公共施設整備基金が8,000万円ありました、船員福祉会館のエレベーターで2,000数百万円、今回4,000万円を使いますので、正確な額ではないですけど、1,000何百万円の残があります。この残額については、どうするということが決まっていませんので、今後協議していかなければならないのではないかと考えています。

○委員

そしたら、基金として残っているんですか、一般財源に繰入てるんですかね。

○濱田支所長

基金として残っております。

○会長

よございますか。今の基金の話は事業の進捗と同時につめていって、我々も共通認識をもって、残金についても大いなる感心を持たなければ、いけないと思いますので、何かあれば、協議会の事務局に質問をぶつけていただいて、内容をつまびらかにしてもらおうというような形でやっていかなければいけないと思っております。それから、資料に出てます個別の予算額27年度これについて、今日出された資料ですので、皆さん詳しくはお持ち帰りになって、次回の会議まで疑問等があれば、事務局のほうにお問い合わせいただきたいと思っております。それと、もう一つ確認ですが、審査部会を決めましたので、今日、まちづくり交付金の審査をやって、事業評価もやりましたが、審査部会が出来た以上は、これを審査部会に本協議会は投げますので、そこで審査してもらって、その結果を協議会で聞いて、協議会の皆さん方がそれに賛成していただければ、協議会決定事項になりますので、その事についてご承知していただくことでよろしいですね。(異議なしという声)

異議なしということなので、そのとおりに、今後は取扱いをさせていただきます。他にありませんか。

○委員

せっかくですけど、生月支所南側付近が崩れているでしょ。あれは、私前に強い岩盤とっていて安心しておったんですけど、地すべりしやすいんですか。また手前みたいに大がかりな吹き付けをやるんでしょうか。

○石橋参事監

これにつきましては、個人の財産ですから、下に土砂が、たとえば道路と一緒になんですよね。道路に土砂が災害によって、がけ崩れによって流れてきて、通行に支障をきたしている場合には、うちの予算で片付けたりして、通行がいいようにします。あそこは、個人の財産なものですから、いろんなメニューを探したんですが、なかなか該当するメニューがないというふうなことで、ただし、そうすると、上のほうの家にもですね、崩れかけてくるような感じなようで、それから私も現場みたんですけど、一段下げて、また下がっているんですね。そしてまた、南側にはかぶってる状況で、今、バリケードをして状況を見ている様な状態です。ただし、ちょっと注意しておかなければならないというふうな事です。

○委員

あの、結構、前のはね、石が落ちたぐらいで良かったんですけど、今回完全な地すべりということで、木まで全部落ちてているから、もう一回雨が降ると、道路の前まで来るんじゃないかと懸念されたんで、緊急の災害対策があるのかなと思って、お聞きしました。分かりました、すみません。

○委員

私も良くわかりませんが、市のやり方として。予算の決め方はどのようにしているんでしょうか。誰かから要望されたから予算を組んでいるのか。そうじゃなくて、市の独自で予算を決めているのか。予算の決め方が良くわからないので。

○西課長

予算の決め方ということですけど、予算はいろんな部門がありまして、産業部門、それから福祉とかありますけど、どういう予算について今、お尋ねでしょうか。

○委員

それぞれ、農林とか水産とかあるんですが、内容あたりを見てみますと、どこどこ地区の整備とか、載ってますよね。そこは誰かの要望で決めているのか、市独自で決めているのか。

○西課長

今の予算の決め方は、基本的には、振興計画というのが市で定めておりまして、それに基づいて予算化をしていくと。次に緊急性。これは補正予算なりで対応していく。それから3番目に、各地区からの要望とか、住民からまたは、ほかのところからの要望があれば、それに対しても、妥当であるということが証明されれば、それは要望にたいして予算が付くようになるかと思えます。いろんなやり方というか、配分の仕方がありますので、ただ地域の皆さんが一致団結して要望していけば、これは議員さんが方と、協力をして、要望が叶うということもありえると思えます。

○委員

殆どが市の考え方で、予算を組んでいるのかなと思うんですけど、要望もいくらか来て、予算を組んでるのかなと思うところもあるもんですから。ちょっとお尋ねしたかったです。

○委員

面白いお話をしましょうか。今これ市の予算なんですけど、国の予算はどうするかというと、事業計画・振興計画があるんですが、そのなかで、よく知事さんとか、市長さん達が、要望に行かれますよね国に。それはね全体的にこれはやると決まっているんですよ10年計画、5ヶ年計画とか。今言われたように、本当に熱意があって、ここだけ早くやってくださいというのは、あそこに行く回数によってね。どうするかというと、担当監の名刺を持ってくると、名刺をこっちに持ってくるんですよ。それで、今年度予算を組むとき、その名刺の手前を出して、やっぱりそれが全部必要かといって、それを全部みて、あーこれ5回来てい

ると。本当にそうなのかと確認して、そこで了解したらそこで予算をつけていく。まったく、振興計画に基づいて、ずーと待っとくと5年ぐらいかかる。緊急性があるか、要望があるか、そこだけですから、急ぐ場合には、どんどん言われたら良いと思います。

○委員

まったく今までの話とは違いますが、防災無線で市の行政あるいは支所からのいろんなお知らせがっておりますが、農協・漁協を除いてですね。このまえ、大変いいことなんですけども、分からずに来てしまったということで。本当に市民が納得される言葉を使っているのかと、標準語であるんですけども、ちょっと中身が難しいような言い方じゃないのかなと思うんですね。もう少しこう掘り下がった、砕けた、ちょっと言葉が見つかりませんが、そのような一例として、このまえ選挙が無投票になった放送を2回ほど聞いたんですけどたぶん選挙管理委員会からですから同じ内容だと思いますから、本庁かからと思うんですが、私の家をご存知のように横が公民館ですからあ4、5名朝早くから来てですね。鍵が家にあるもんですから、鍵を借りにきて。今日は選挙ないんですか、と問われて。いや無投票でマイク放送してましたけれどといったら、もうちょっと分かりやすく放送して欲しかったといわれました。それ以外にもちょっと、聞き辛いんじゃないですけど、若い人から高齢者もいるんですから、少し、分かりやすいような言葉を、住民に直接係わることは、分かりやすい言葉で放送し方が良いのではないかなと思います。

○濱田支所長

日頃より、防災無線における放送は、出来るだけ分かりやすく、簡潔にと言っておりますけど、分かり辛かったことに関しましては、お詫び申し上げます。今後は、担当課にもそういう話があったということを伝えておきます。支所が放送する場合は、注意して放送するようにします。

○委員

放送ですけど、今、教育委員会で流されてますよね。子供の帰宅放送。とても良いと思うんですけど。あれに付け加えてですね、ある人から要望があったんですよ。それは12時ぐらいでもいいから、朝晩は大変だから、ラジオ体操を流してくれないかなと。高齢者の方々が、あの放送を聞いて、やる人もいないんじゃないかなという意見もありました。もし放送内容が、簡単に換えられるようなことだったら、試験的にラジオ体操を。健康寿命を維持するために、12時でもNHKがラジオでやっている。それを言ったんですけどね。あの放送があれば、やかましい。という人がいると思いますがお願いできないかとの要望がありましたので。すみません。

○濱田支所長

おっしゃるように、他の町ではラジオ体操を流しているところもあることは知っています。ただ、通常の放送や、時報のチャイムでも「うるさい」という意見もあります。しかし、そのような要望があるということであれば、区長会等で協議をしていただいて、必要であるということであれば、放送できないことはありません。ただ、うるさすぎるとか、そういう苦情があるのも事実であります。そういうことで、住民のかたが本当に必要であるとするならば、流すことは可能です。

○会長

だいぶ時間も超過しておりますので、そろそろ協議を止めたいと思いますが、いかがでしょうか。(はいという声)それでは、今日の全議案を終了します。

17時50分 閉会

9. 会議録の公開

公開する

10. 会議資料の名称及び内容

- ①平成27年度第1回生月町地域協議会資料（レジュメ）
- ②平戸市まちづくり活性化事業交付金事業評価要領
- ③平成26年平戸市まちづくり活性化事業交付金（生月地区）事業評価一覧【様式第3号】
- ④平戸市まちづくり活性化事業交付金（生月地区）事業評価一覧
- ⑤平戸市まちづくり活性化事業交付金（生月地区）実績報告資料集
- ⑦平戸市まちづくり活性化事業交付金審査要領【生月地区】
- ⑧平成27年度平戸市まちづくり活性化事業交付金（生月地区）審査一覧
- ⑨平戸市役所生月支所行政機構
- ⑩平成27年度平戸市生月町教育関係行事予定表
- ⑪生月町地域協議会専門部会名簿
- ⑫地域自治区の設に関する協議書
- ⑬平成27年度当初予算平戸市役所生月支所

11. 会議録の作成者の職氏名

平戸市役所生月支所地域振興課

主査 破戸 修